

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月27日(金) ～30日(火)	第52回通常総会, 総合講演会, 懇親会, 年次学術講演会, 見学会	札幌市外	5号1 ページ参照
	6月25日(木) ～26日(金)	昭和41年度夏期講習会	東 京	5号2 ”
関東支部	5月19日(木)	見 学 会	東 京	4号6 ”
	5月24日(火)	地盤注入工法の手引の解説講習会	同	4号6 ”
中部支部	6月21日(火) ～22日(水)	土木建造物の振動と安全性に関する講習 会	名 古 屋	5号6 ”
関西支部	5月24日(火) ～25日(水)	土木建造物の振動と安全性に関する講習 会	大 阪	4号7 ”
そ の 他	5月20日(金)	都市再開発講演会	大 阪	4号9 ”
	5月26日(木)	日本工学会講演会	東 京	4号8 ”
	6月9日(木)	第14回接着研究発表会	大 阪	5号7 ”
お知らせ	■ 第13回海岸工学講演会講演募集			5号3 ”
	■ 第3回衛生工学研究討論会原稿募集			5号3 ”
	■ 第10回材料試験連合講演会講演募集			5号4 ”
	■ 第3回世界地震工学会議議事録ご希望の方へ			5号4 ”
	■ 日本地震工学シンポジウム(1966) 開催と発表論文の募集			5号5 ”
	■ 本州四国連絡橋技術調査第1次報告書頒布について			5号6 ”
	■ 国際水工学・国際衛生工学コース			5号7 ”
	■ 第15回レオロジー討論会申込みについて			5号7 ”
	■ 第2回「国土開発映画コンクール」作品募集			5号8 ”
	■ 8学会互報欄			5号8 ”
■ コンクリート標準示方書・同解説の改訂遅延についてお詫び			5号8 ”	

第52回通常総会および第21回年次学術講演会

昭和41年度通常総会および年次学術講演会は、つぎの日程により札幌市で行ないますので多数ご参加下さい。

○行 事 日 程

- 通常総会：5月27日(金) 14時～17時 於日本生命ビル(札幌市北3条西4丁目)
- 総合講演会：5月28日(土) 9時～12時 於北大クラーク会館(北大構内)
 - 9.05～10.00 日本港湾の特異性と臨海工業地帯造成事業の推移 土木学会会長 工博 岡部 三郎
 - 10.05～11.00 北海道開拓100年の歩み 北海道大学教授 農博 高倉 新一郎
 - 11.05～12.00 北海道開発の現況 北海道開発局長 遊佐 志治郎
- 学術講演会：5月28日(土) 13時～17時 } 於北大教養部・工学部外(札幌市北17条西8丁目) 17条電停下車
5月29日(日) 9時～17時 }
- 懇親会：5月28日(土) 18時～19時30分 宮の森ガーデン(札幌市郊外宮の森・北海道神宮裏) 会費：500円
- 見学会：会費；A班200円 B班5000円 C班8500円
 - (A) 札幌市内コース 5月30日(3時間)
 - (B) 登別, 洞爺コース 5月30日～31日 登別泊, 洞爺駅 16.00時解散
 - (C) 阿寒コース 5月29日夜行～31日 川湯温泉泊, 釧路駅 17.30時解散

昭和 41 年度夏期講習会開催案内

◀ 8 月 25 日 (木) ~ 26 日 (金) ▶

今年の夏期講習会は、時期を同じくして出版される「土木技術者のための振動便覧」をテキストとして行ないますが、便覧中から特に一般の技術者が興味をもち、また実務上にも必須と思われるケースを選んで、わかりやすく説明を加えるものであります。多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 会 場：杉並公会堂（東京都杉並区上荻 1-23-15；国電または地下鉄、荻窪駅北・西口から約5分）

2. テー マ：「土木工学における振動と耐震の諸問題」

3. 参 加 費：未 定

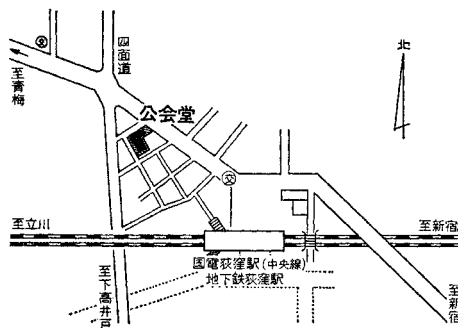
4. 内 容：8 月 25 日 (木)

9.30~ 9.40	会長あいさつ	土木学会会長
9.40~10.30	① 振動学入門	北海道大学助教授 芳 村 仁
10.40~11.30	② 構造物の振動	東京大学教授 久 保 慶 三 郎
11.40~12.30	③ 振動測定—方法と解析法—	建設省土木研究所 大 久 保 忠 良
13.30~14.20	④ 振動を利用した建設機械	清水建設KK 武 川 恵 之 助
14.30~15.40	⑤ 水流による構造物の振動	電力中央研究所 日 野 幹 雄 同 桜 井 彰 雄
15.50~16.20	⑥ 防振法・その他	

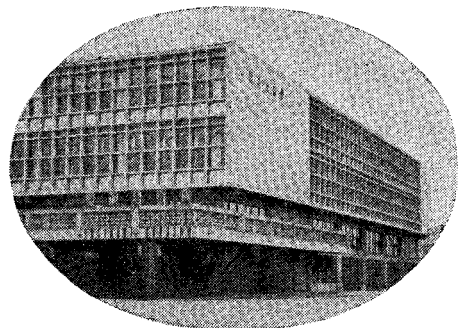
8 月 26 日 (金)

9.30~10.20	⑦ 振動を利用した地盤および構造物の調査	国鉄鉄道技術研究所 小 林 芳 正
10.30~11.20	⑧ 土の動的性質	運輸省港湾技術研究所 土 田 肇
11.30~12.20	⑨ 動的耐震設計	京都大学助教授 山 田 善 一
13.20~14.10	⑩ 耐震設計上の注意	八千代エンジニアリング 小 寺 重 郎
14.20~15.10	⑪ 地震時土圧・水圧	京都大学教授 後 藤 尚 男
15.20~16.10	⑫ 長大橋の耐風設計	中央大学助教授 岡 内 功
16.10~16.20	閉会あいさつ	

会 場 案 内 図



会 場 全 景



第13回海岸工学講演会講演募集

第13回海岸工学講演会は12月初旬仙台市において開催することになりました。講演ご希望の方はつぎの要領によりふるってご応募下さい。なお、今回より同一内容のものを2つに分けること、および同一著者が重複して登壇することはご遠慮下さい。

1. 講演申込期日：1966年7月30日(土) 期限厳守
2. 講演原稿締切：1966年8月20日(土) "
3. 講演申込みおよび原稿提出について：
 - ① 講演申込みは7月30日(土)までに講演題目・著者名(連名の場合には登壇者に○印をつける)、予定ページ数を記入してハガキで下記申込先へお申込み下さい(期限を過ぎたものは受付けません)。
 - ② 同一内容の講演を一緒に2つ以上提出しても受付けません。
 - ③ 原稿一編の長さは原則として刷上り6ページ以内(400字詰原稿用紙30枚以内・図表・写真をふくむ)とします。
 - ④ 原稿の内容により6ページ以内に収録することが困難な場合は著者の希望により10ページまでの超過を認めますが、この場合は著者に超過1ページにつき2000円負担していただくか、超過1ページあたり講演集を2冊お買上げいただきます。
 - ⑤ 原稿には必ず超過希望の有無、およびつぎの事項を記入して下さい(A：負担金、B：講演集購入)。
 - ⑥ 図面は必ずスミ入れし、説明文字は鉛筆書きにして下さい。
 - ⑦ 別刷は希望により実費で差上げますので原稿に必要な部数をご記入下さい。
 - ⑧ 著者校正ご希望の方はその旨明記して下さい。
4. 申 込 先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会海岸工学講演会係

第3回衛生工学研究討論会論文提出募集について

土木学会衛生工学委員会では一昨年は“下水の生物処理”、昨年は“水質汚濁に関する諸問題と凝集および沈殿処理”をテーマに討論会を開催し非常に好評を博しましたが、本年度は下記により第3回衛生工学研究討論会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1966年11月(1ないし2日間)
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂
4. 論 文 内 容：1) 送配水について(計画・設計・施設・管理その他)
2) 下水処理について
3) その他(今年度は上記課題の他に自由課題を含む)
5. 申 込 方 法：7月15日までにB5判用紙に論文題目、研究者氏名(共同研究の場合は講演者に○印を付ける)、勤務先、連絡先を明記し、講演梗概(800字程度)を付して、土木学会衛生工学委員会宛お申込下さい。
6. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。なお、採用決定のうちは改めて講演原稿の提出方をお願いいたします。

第 10 回材料試験連合講演会講演募集要項

共 催：日本学術会議材料試験研究連絡委員会，化学工学協会，金属表面技術協会，高分子学会，造船協会，土木学会，日本鋳物協会，日本化学会，日本機械学会，日本金属学会，日本建築学会，日本航空学会，日本材料学会，日本セメント技術協会，日本鉄鋼協会，日本非破壊検査協会，日本木材学会，溶接学会，窯業協会

幹事学会：高分子学会，土木学会，日本航空学会，日本材料学会

日 時：1966 年 9 月 8 日 (木)・9 日 (金)

会 場：京都大学工学部土木総合館

- 講演申込：**
1. 参加学会所属の会員は当該学会をつうじて申し込み，参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申し込むこと。
 2. 講演内容はすでに発表されたものでも差しつかえないが，最近の研究に属するものが望ましい。なお，研究内容は材料の諸物性，諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する応用研究を包含する。
 3. 講演時間は約 20 分 (討論を含む) の予定。
 4. 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。
 5. 申込用紙は B 5 判とし，つぎの事項を必ず記載すること
 - a) 講演題目 b) 梗概約 200 字 c) 講演部門名 d) 講演ならびに連名者の各氏名，勤務先，通信先，学会員資格，年齢 (連名の場合には登壇者に○印をつけること) e) 講演題目，氏名，勤務先には英文を付記すること
 - f) スライド使用の有無 (大きさは 35 mm) g) 欧文論文集 (付記参照) へ投稿希望の有無

講演部門： I. Micro-structure of materials (微視的構造) II. Mechanics of materials (材料の力学—弾性，塑性，粘弾性等) III. Mechanical properties of materials (材料の力学的性質) IV. Other properties of materials (材料のその他の性質) V. Strength of structures (構造強度) VI. Working and processing of materials (材料の加工と処理) VII. Special problems (その他)

申込締切：1966 年 6 月 20 日 (月)

講演前刷：聴講者のテキストとし，あわせて講演時間の短縮，掛図などの節約のため，講演者全部の講演前刷を作るので，講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ (参加学会会員以外の方は，申し込んだ幹事学会へ) 提出すること。

- a) 講演前刷原稿提出期日 7 月 20 日 (水)
- b) 前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内 (図表，写真を含めて邦文で約 2600 字) に明りようにスミ書きし，なるべく余白を避けるように留意のこと (講演前刷はオフセットになるので写真も入れることができる)。
- c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り，所定用紙以外に書いた原稿は受付けない。

(付 記)

1. 発表論文は Proceedings of the Tenth Japan Congress on Testing Materials にのせ，諸外国にも頒布の予定である。
2. 本論文集に登載される論文は今回発表されたもので欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる規定原稿用紙に執筆し，講演会当日までに，日本材料学会気付材料試験連合講演会論文集刊行会 (京都市左京区吉田泉殿町 1 の 101 電話 京都 56-5321) に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また，不備な原稿は返却することがある。

第 3 回世界地震工学会議議事録ご希望の方へ

昨年 1 月 ニュージーランドで開催された第 3 回世界地震工学会議議事録 (論文集) が今年の 6 月に公刊されることになりました。全 3 巻で 12 ニュージーランドポンドの見込みです。まだ申込まれない方で希望者は希望冊数を記入し下記へお申込み下さい。支払方法，送付方法は直接連絡してくることになっています。

Mrs. J.H. Van Roekel Administrative Secretary 3 W.C.E.E., P.O.Box 5180 Wellington, New Zealand.

日本地震工学シンポジウム（1966）開催と発表論文の募集

標記シンポジウムは 1962 年に第 1 回を開催し、所期の成果をあげることができました。これによって 1965 年 1 月ニュージーランドで開催の第 3 回世界地震工学会議にわが国代表団が世界の期待する研究成果を発表できた素地が築かれたものと信じております。

このシンポジウムは世界会議の中間年に催して、わが国としては繋ぎの研究集会としての大きな意義をもつものになって参りましたので、海外研究者の有志にも参加できるよう門戸を開いて、つぎによる第 2 回目のシンポジウムを開催し、国内の地震工学研究者、技術者の研鑽と交流および研究情報交換の場に致したいと存じますから、会員各位には下記規定ご参照のうえふるってご応募下さい。

なお、土木学会において毎年開催しております地震工学発表会は 1966 年は開催いたしませんことを申添えます。

主催：地震学会・土質工学会・土木学会・日本建築学会

(1) 開催予告

- 1) 日時：1966 年 10 月 24 日（月）～26 日（水）9 時～16 時 30 分シンポジウム
 " 10 月 27 日（水）見学会（詳細は追って発表）
- 2) 場所：東京都千代田区有楽町 1 丁目第一生命館 6 階第一生命ホール
- 3) シンポジウムの内容：論文発表およびパネル討論
- 4) パネル討論：下記のように決定しました。

テ マ	司 会	内 容	主 題 説 明 者
I 構造物の地震応答観測	金井 清（東大震研）	1 建築物における現況 2 土木構造物における現況 3 観測法に関する問題点	大沢 胖(東大震研) 大久保忠良(建設省土研) 田治見宏(京大建築)
II 地震時の地震性状	最上 武雄（東大土木）	1 地表層の振動 2 地 耐 力 3 動的地盤係数	嶋 悦三(東大震研) 白石俊多(地下工事コンサ) 後藤尚男(京大土木)
III 構造物の耐震試験	梅村 魁（東大建築）	1 建築物の耐震試験一方法と結果一 2 土木構造物の耐震試験一方法と結果一 3 耐震試験に関する問題点	中川恭次(建設省建研) 林 聡(運輸省港研) 小堀鐸二(京大建築)

(2) 論文発表の募集

- 1) 発表論文の内容：地震工学に関するもの（発表論文は最近の研究に属するものが望ましいが、既発表のものを含んで差し支えない）。
- 2) 応募の方法：
 - a 論文提出希望者は 1966 年 5 月 15 日までに所属学会、氏名（ローマ字付記）、勤務先（英文付記）、職名、連絡先を明記のうえ、邦文約 800 字または英文約 400 語の内容梗概を所属学会または今回の幹事会である日本建築学会に提出する。
 - b シンポジウム運営委員会は発表論文の採否を 5 月末日までに決定し、すみやかに応募者に通知する。
 - c 採択された論文著者は 1966 年 7 月末日までにつぎの体裁に整えた原稿を所属学会または幹事学会に提出する。
- 3) 発表論文の体裁：
 - a 用語は日本語または英語とする。
 - b 日本文の場合著者は送付された所定用紙 3 枚または 5 枚（図、表、写真を含めて 3 枚の場合約 4900 字、5 枚の場合約 8200 字）にタイプする。別にタイプ用紙 1 枚（約 500 語）にタイプした英文の内容梗概をつける。
 - c 英文の場合は所定用紙 4 枚または 6 枚（図、表、写真を含めて 4 枚の場合約 2400 語、6 枚の場合約 3600 語）とする。いずれの場合も前記（2）、2）-b）によって執筆者に送付する原稿用紙に添付の執筆要項により、オフセット印刷に適するよう黒色を用いる。
- 4) 発表論文の取扱い：
 - a 発表論文は前刷としてオフセット印刷し、希望者には実費頒布できるようにする。
 - b シンポジウム後討論その他の補足をオフセット印刷し、前刷の発表論文とあわせてプロシーデングスとする。著者には論文 1 題につき別刷 50 部を贈呈する。

中部支部行事事案内 (名古屋市 中村区 笹島町 1 の 2 2 3)
(名古屋鉄道KK土木部庶務課内 電 名古屋 571—2111 内 267)

(1) 土木構造物の振動と安全性に関する講習会 ◀ 6月21日(火)~22日(水) ▶

土木構造物の振動と安全性に関する講習会を下記のとおり開催しますので多数ご参加下さい。

1. 場 所：愛知県産業貿易館 4階大会議室 (名古屋市中区御幸本通1の18 電話 名古屋 231—6351)

2. 題目と講師：

第1日 [6月21日(火)]

10.00 ~ 10.10	開会挨拶		土木学会中部支部長
10.10 ~ 11.00	構造物の振動理論	京都大学助教授 工博	白石 成人
11.10 ~ 12.00	不規則振動論	東京大学講師 工博	伯野 元彦
13.00 ~ 13.50	振動測定と振動障害	神戸大学教授 工博	畑 中元弘
14.00 ~ 14.50	土木構造物の耐震設計	京都大学教授 工博	後藤 尚男
15.00 ~ 15.50	建築構造の耐震設計の最近の傾向	京都大学教授 工博	金 多 潔
16.00 ~ 16.50	擁壁の動的土圧	名古屋大学教授 工博	市原 松平

第2日 [6月22日(水)]

10.00 ~ 10.50	橋梁の衝撃	京都大学助教授 工博	山田 善一
11.00 ~ 11.50	構造物の安全性と信頼性に関する理論	神戸大学教授 工博	西村 昭
13.00 ~ 13.50	鋼構造物の極限強度	名古屋大学助教授 工博	福本 晴士
14.00 ~ 14.50	構造物の座屈安定	東京大学教授 工博	奥村 敏恵
15.00 ~ 15.50	風による構造物の振動現象	大阪市立大学助教授 工博	小松 定夫
15.50 ~ 15.55	閉会挨拶		土木学会中部支部幹事長

3. 定 員：200名

4. 参加費：会員 1200円 (テキスト代含む) ただし講習会当日は 1500円となりますので期限内に前納して下さい。
非会員 1500円

5. 申込期限：1966年 6月10日(火)

6. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および会員の種別を明記(様式随意)して上記参加費を添えて 6月10日(火)まで上記土木学会中部支部事務局までお申込下さい。

参加者には参加証をお送りしますから当日必ずご持参下さい。定員以上はおことわりいたしますので早く申込んで下さい。

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

本州四国連絡橋技術調査第1次報告書頒布について

土木学会では昭和37年以来、建設省ならびに日本鉄道建設公団(公団設置以前は国鉄)の依託により「本州四国連絡橋技術調査委員会」を組織し各種の検討を行なって参りました。

同委員会には、下部組織として「基礎に関する専門部会」、「上部構造に関する専門部会」、「耐風設計小委員会」、「耐震設計小委員会」が設けられ、延べ270回に達する会合を通じてそれぞれの分野についての専門的検討を重ね、その審議の結果を第1次報告書および付属資料としてとりまとめ建設省ならびに日本鉄道建設公団に提出しました。

本報告書は学術的にも技術的にもきわめて貴重なため本会では建設省および日本鉄道建設公団の了解を得て200部に限り希望者に実費で頒布致しますのでご希望の方は5月20日までに前金で土木学会へお申込み下さい。予定部数に達し次第、締切日前でも自動的に締切らせて頂きます。

記

本州四国連絡橋技術調査第1次報告書 A4判 240頁(活版印刷)

附属資料：耐風設計指針(1964)解説 A4判 178頁(同)

附属資料：鋼材調査 A4判 102頁(同)

以上3冊上製箱入 実費 5000円(送料 500円)

国際水工学・国際衛生工学コース

Subject : International Course in Hydraulic Engineering ; International Course for Hydrologists : International Course in Sanitary Engineering, I-II

Date : October 20, 1966-September 9, 1967

Place : Delft Technological University, the Netherlands

毎年オランダにおいて開催されている上記コースの案内が来ております。詳細を知りたい方は、土木学会編集課(351) 5130 までご連絡下さい。

第4回接着研究発表会

◀ 6月9日(木)~10日(金) 9.00~17.00 ▶

第4回接着研究発表会が関係 15 学協会の主催により下記の日程で開催されますので多数ご参加下さい。詳細は日本接着協会事務局へご連絡下さい。

1. 会 場 : 大阪科学技術センター 8階大ホール (大阪市西区靱1丁目 118 電 大阪 443-5321)
2. 研究発表 : 34 件
3. 特別講演 : 6月9日(木) 16.00~17.00 グラフト・ポリマー 大阪府立工業奨励館 中尾 一 宗
6月10日(金) 15.30~16.30 工業材料としての接着剤の諸問題 日立製作所中央研究所 福村 勉 郎
4. 加 参 料 : 1日につき 100円 (当日会場にて受付)
5. 講演要旨集 : 1部 300 円
6. 懇 親 会 : 6月9日(木) 18.00~20.00
会場・大阪科学技術センター 6階サイエンクラブ 605 号室
会費・1000 円 (当日会場にて受付)
7. 連 絡 先 : 日本接着協会事務局 (大阪市西区江之子島・大阪府立工業奨励館内・電 大阪 441-4755)

第15回レオロジー討論会申込みについて

- 共 催 : 日本化学会・日本物理学会・高分子学会・日本材料学会・色材協会・応用物理学会・日本機械学会・日本接着協会・日本金属学会・土木学会・日本ゴム協会・繊維学会・窯業協会ほか
1. 日 時 : 1966 年 11 月 24 日(木)~26 日(土)
 2. 場 所 : 東京工業大学講堂 (東京都目黒区大岡山2の12の1)
 3. 主 題 : 1) 接着のレオロジー ; 接着のレオロジー (細隙内への流動・拡散, 粘着, 固化等接着過程に関連するレオロジー現象, 生成した接着系や塗膜の変形と破壊, その他広く界面の関係するレオロジー現象)
2) レオロジー一般 ;
 4. 申込要領 : 講演題目・研究者氏名 (連名のときは講演者に○印)・勤務先・連絡先・概要説明(400 字程度)を記入し, 1966 年 8 月 20 日までに申し込むこと。1 件あたりの時間は講演 15 分, 討論 15 分を予定しています。
申込先 ; 東京都中央区日本橋本町 3-9 社団法人 高分子学会 レオロジー委員会
 5. 講演要旨 : 講演要旨はオフセット印刷で作成しますので講演申込者には指定の原稿用紙を送ります。
予稿集原稿締切 1966 年 9 月 20 日 字数 4000 字程度
本討論を活発に運ぶため, 討論会開催前に, 講演要旨集を作成, 頒布いたしたいと思っておりますので締切日は厳守下さい。
なお申込みの採否・プログラム編成, その他は準備委員会にご一任下さい。

第2回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は昭和39年秋、創立50周年を記念して「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて、今後隔年に映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを、視聴覚によって、広くPRせんとするものであります。「第2回国土開発映画コンクール」作品をつぎによって募集いたします。ふるって応募のほどお願いします。なお、優秀作品は、当学会「建設技術フィルム・ライブラリー」として活用をはかる予定であります。

第2回国土開発映画コンクール要領

1. 内 容：国土開発に関し、土木技術を主とした映画
2. 規 格：16mm カラートーキー（上映時間20分以上）
3. 審 査：土木学会映画審査委員会
4. 賞 格：1等1編 2等2編 3等3編 おのおの賞状ならびに賞牌
5. 発 表：1966年11月24日（土木学会創立記念日）
6. 締 切：1966年9月30日
7. 申 込 先：土木学会事業課あて

8 学会互報欄

◀日本機械学会（東京都港区赤坂一ツ木町89 電 東京 582—6911）

- (1) 車両技術者のためのエレクトロニクスに関する講習会（6月10日（金）9.30～16.30、日本化学会講堂、申込締切5月25日、会費2000円）
- (2) 設計者のための鉄鋼材料の選び方と使い方に関する講習会（7月18日（月）～19日（火）9.30～、日本化学会講堂、申込締切7月5日、会費2000円）
- (3) 流体潤滑理論と動的問題に関する講習会（7月29日（金）～30日（土）9.00～16.00、日本化学会講堂、申込締切7月15日、会費2000円）

◀日本建築学会関東支部（東京都中央区銀座西3—1・電 東京 535—6511）

- (1) 鉄筋コンクリート構造の設計講習会—構造計算のすずめ方（6月1日（水）、砂防会館（千代田区平河町2—7）、申込当日受付、会費 会員900円・会員外1200円）

◀日本物理学会（東京都文京区本郷7丁目・東京大学理学部内・電 東京 813—5526）

- (1) 低温物理学の基礎と応用講習会（7月19日（火）～22日（金）、学習院大学中央教室、申込み締切5月23日、会費一般6000円、会員4500円、学生3000円）

コンクリート標準示方書・同解説の改訂遅延についてお詫び

コンクリート標準示方書・同解説は昭和31年制定、昭和33年一部改訂されたまま今日に至っており、現在コンクリート委員会を中心に大幅な改訂作業が進められております。学会では改訂に備えて昨年夏ごろから33年版を絶版に致しましたが、改訂作業が予想以上に遅れ利用者各位に大変ご不便をおかけしております。目下の予定では本年11月ころには昭和41年版コンクリート標準示方書・同解説が発行できる見込みですので、もうしばらくお待ち下さいますよう御詫びかたがた御知らせ致します。